

## 視聴覚教育

NO 191

発行日  
5. 3. 15発行  
岡崎市AVL編集  
広報委員会

## 岡崎の視聴覚教育この一年

本年度の研究主題を「個性を大切にし、人間性豊かな子どもを育てるための視聴覚教育のあり方を追究しよう」とした。そして、広報・研修・機材・自作の四委員会をもとに、視聴覚教育活動がスタートした。月報「視聴覚教育」の発行、研究誌「岡崎の視聴覚教育」の編集、視聴覚関係の研修会の開催、「視聴覚機器操作の手引き」の作成、自作ビデオの制作と活用の手引き作成、番組関連表の作成等、多方面での活動を行ってきた。

本年度末までに、市内五中学校に、ネットワークシステムを備えたパソコン教室が設置される。これで、市内の全中学校にパソコン教室が備わることになり、平成五年度の中学校学習指導要領の全面实施に向け、パソコンを活用した授業が本格化することになる。

岡崎の視聴覚教育活動としての一年を振り返ってみると、本年度も、県はもとより、全国においても高い評価

を得ることができた。

全国に目を向けてみると、まず、平成四年五月に、連尺小学校が、第三回松下視聴覚教育研究賞論文で文部大臣表彰を受けたことがあげられる。そして、十二月の全国自作視聴覚教材コンクールにおいて、ビデオ作品「生きていく土」（中三理科）が優秀賞に、ビデオ作品「生まれかわるごみ」（小四社会）が入選となった。さらに、第四回松下視聴覚教育研究賞論文で、美川中学校が理事長賞となり、平成五年五月に、表彰されることとなった。

県関係においては、平成四年七月に行われたNHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会での五つの入賞から始まったと言える。続いて、NHK杯小学校放送コンテスト愛知県大会での入賞がある。そして、県自作OH P-T-Pコンクールでは特選七点を含む四十九点が入賞した。また、県自作視聴覚教材コンクールでは、優秀賞二点を含む五点が入賞した。

なお、平成四年十月二十七日には、井田小学校で視聴覚教材を活用した研究発表会が開催された。研究テーマを「たくましい体と豊かな心を育てる」創造力と実践力を高める視聴覚メディアの活用」とし、これまで積み上げて来たすばらしい実践の成果が紹介された。



平成四年度

## 県自作視聴覚教材コンクール結果

平成四年度（第三十七回）愛知県自作視聴覚教材コンクール入賞作品発表会が、平成五年二月十二日（金）に愛知県教育センターで開催された。本年度の応募総数は百五点であり、岡崎からは、次の五点が入賞した。

### ☆優秀賞・ビデオ「生まれ変わる石」（中三理科）

視聴覚ライブラリー・現職教育理科部

・ビデオ「和算」（一般）

視聴覚ライブラリー・現職教育社会科部

### ☆優良賞・ビデオ「学区の歴史を探そう」（小六社会）

視聴覚ライブラリー・現職教育社会科部

### ☆佳作・ビデオ「セーター工場をたずねて」（小二社会）

視聴覚ライブラリー・現職教育社会科部

・ビデオ「Asking the way」

（中三英語）

現職教育英語部視聴覚研究部

なお、審査委員長から、次のような講評・助言をいただいた。

・ビデオは、「絵」と「音」と「ナレーション」でできていることを考慮して制作したい。

・アイデアのある作品としたい。

・見る者に呼びかけ、考えさせる作品としたい。

## ライブラリーだより

### ☆新規購入教材、機器の紹介

寄附の申し込みがあり、新たに視聴覚教材・機器を購入することになりました。購入予定の教材・機器については左記のとおりです。

・16ミリ映写機、スクリーン 各一台

・16ミリ映画フィルム（アニメ映画） 四巻

①パリの三銃士 ②アンパンマンとばいきんまん

③きんたろう ④ブレイメンの音楽隊

・ビデオ教材用テープ（修学旅行事前指導用） 四本

①京都―歴史に生きる―

②京都―暮らしの四季―

③奈良―平城京はいま―

④奈良―古代のなぞ―

なお、同教材・機器の貸し

出しは四月一日より行います。

ほかにも、たくさんの16ミリ

映画がありますので、映画会

などの企画がありましたら、

是非、ご利用ください。

### ※編集後記※

多くの成果をおさめた視聴覚部の活動を紹介してきました。さらに岡崎の視聴覚教育を発展させるために、紙面の充実をはかっていたいと思います。

